

真空脱気装置付熱処理炉



本装置はCu板ロール状のワークを真空乾燥及び焼鈍する為の装置です。

本装置の加熱方式は、シースヒーターによる抵抗加熱方式と、窒素ガス熱風循環加熱方式の2方式を採用しております。

また冷却時間の短縮を実現する為に、冷却板接触による強制冷却機構を設けてあります。

ワークをセットした後、チャンバー本体フランジ面及び製品格納まで自動的に移動する機構も備わっております。

真空脱気装置付熱処理炉 仕様

- 到達圧力 $\times 10^{-2}$ Pa以下※常温・無負荷時・ワーク未挿入時
- 排気速度 $\times 10^{-1}$ Pa台20分以内
- 被処理物 Cu(厚み0.15mm)ロール状
寸法: $\phi 800\text{mm} \times \phi 508\text{mm} \times 600\text{mmL}$
重量: 最大2t
- 加熱温度 最高300°C(常用230°C)
- 処理時間 昇温時間: 約6時間
維持時間: 1時間
降温時間: 約4時間
- 加熱方式 抵抗加熱方式
熱風循環加熱方式
- 冷却方式 冷却板接触による強制冷却方式
ガス循環冷却方式
- 測温機構 ワーク表面接触式(シリンダー方式)
- 移動機構 ワークを台車にセットした後は、チャンバー内まで自動的に格納する
- 真空排気系 油回転ポンプ: 1600L/min[50Hz]
メカニカルブースターポンプ: 4670L/min[50Hz]
- 真空計 ブルドン管式真空計/ピラニ真空計
- 操作方法 グラフィックパネルによる操作(AUTO操作・MANUAL操作)
- 制御系 プログラム温調計/デジタル温調計/電流計/電圧計/ハイブリッド記録計
- ユーティリティ電気: AC200V三相200V50kVA
冷却水: 20L/min以上0.1MPa以上0.15MPa以下25°C以下循環
計装エア: 0.5MPa以上
設置寸法: (2000)mmW \times (4500)mmD \times (2000)mmH